



名前 藤原 昭文

役職 教授

学位 工学博士

構造物の座屈および 塑性加工におけるしわ評価

キーワード: 座屈、塑性加工、しわ、割れ

研塑性設計法による座屈および後座屈解析塑性設計法は、変形を簡易な形で仮定し、現象を理解しながら構造物の塑性変形を推定する手法である。

当初は崩壊荷重の推定に用いられる手段として開発されたが、自動車等のエネルギー吸収性能評価を目的として、圧縮時の大変形解析にも用いられるようになった。

また、異方性近似を用いて塑性座屈の解析にも用いられる。

そのような塑性設計法を種々の変形問題に応用する。



左は円筒,右は角筒の軸圧壊による座屈前後の様子

専門分野: 材料力学、破壊

技術協力・相談分野: 金属加工時のしわ、割れ、構造物の強度

連絡先 tel:0738-29-8347 e-mail:a-fujiwara@wakayama-nct.ac.jp